

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
住友化学株式会社	代表取締役社長	岩田 圭一	東京都	製造業	https://www.sumitomo-chem.co.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年9月25日
-------	------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	・取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A ③	パレット等の活用	・パレット、スチール製折りたたみコンテナ、通い箱等を活用し、荷役時間を削減します。
3	A ④	発荷主からの入出荷情報等の事前提供	・発荷主として貨物を発送する場合に、物流事業者や着荷主の準備時間を確保するため、入出荷情報等を早めに提供します。
4	A ⑦	運転以外の作業部分の分離	・物流事業者から運転業務と運転以外の附帯作業の分離について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。
5	A ⑩	リードタイムの延長	・トラック運転者が適切に休憩を取る運行が出来る様に、発荷主としての出荷予定時刻を守ります。 ・着荷主として幅を持たせた到着時刻を認めることなどにより十分なリードタイムを確保します。
6	A ⑪	高速道路の利用	・物流事業者から、高速道路の利用と料金の負担について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。
7	A ⑭	船舶や鉄道へのモーダルシフト	・長距離輸送について、トラックからフェリー、RO-RO船や鉄道の利用への転換を行います。この際に、運送内容や費用負担についても必要な見直しを行います。
8	B ①	運送契約の書面化の推進	・運送契約の書面化を推進します。
9	C ①	契約の相手方を選定する際の法令遵守状況の考慮	・契約する物流事業者を選定する際には、関係法令の遵守状況を考慮します。
10	C ②	働き方改革等に取り組む物流事業者の積極的活用	・働き方改革や輸送の安全性の向上(Gマーク事業所取得)等に取り組む物流事業者を積極的に活用します。
11	D ①	荷役作業時の安全対策	・荷役作業を行う場合には、労働災害の発生を防止するため、安全な作業手順の明示、安全通路の確保、足場の設置等の対策を講じるとともに、事故が発生した場合の損害賠償責任の明確化を図ります。
12	D ②	異常気象時等の運行の中止・中断等	・台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運送依頼を行いません。また、運転者の安全を確保するため、運行の中止・中断等が必要と物流事業者が判断した場合は、その判断を尊重します。
13	F ①	中継拠点の活用推進	・中継拠点(倉庫・タンク)の最適化を検討することで、生産拠点からのトラックによる長距離配送を削減させ、中継拠点までの輸送をロットアップすることでトラック乗務員の労働時間の削減を目指します。

PR欄

・当社は、2014年12月にモーダルシフトの推進等によりグリーン物流パートナーシップ会議特別賞を需要家および複数の物流協力会社と受賞しました。また、2019年4月には、国土交通省の「総合効率化計画」に複数の物流協力会社と認定され、トラック運転者の労働時間削減に貢献しております。
・当社は、今後も物流協力会社と一体となって、深刻化が続くトラック運転者不足に対応して参ります。